

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 産婦人科 (研究責任者) 中島 隆広

＜研究期間＞

承認日 ~ 令和5(西暦2023)年3月31日

＜研究の目的と意義＞

下記の試料・診療情報等を利用し、本邦における腹腔鏡下子宮体癌手術の実態について解明することを目的としています。

＜利用する試料・情報の項目＞

日本産婦人科学会悪性腫瘍登録データベース及び日本産婦人科学会悪性腫瘍登録施設から提供される診療情報

診療情報等：診断名、年齢、手術日、術式、組織型、病期、生存状況など

＜対象となる方＞

2015年1月1日 から 2017年12月31日 までの間に、

本邦の日本産婦人科学会悪性腫瘍登録施設で子宮体癌についての手術を受けられた方です。

＜研究の方法＞

本邦の子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態と予後への影響を明らかにすることが目的であります。日本産婦人科学会腫瘍登録データベースを利用し、データベースで不足している個々の症例の情報(再発状況、手術手技、術後補助療法の情報など)についての症例情報を集積しデータベースからのデータと統合することにより、再発率(無病生存率)、施設属性などによる差異を検討します。

＜外部への試料・情報の提供の方法＞

当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

実際のデータ集積はデータ入力ファイルに調査事項を記入し、日本産科婦人科学会HP上で誤送信のないようファイル添付の送信フォームを使用し、ファイルをアップロードします。送信フォームへはパスワード入力でのログインが必要で、データの送信はSSL暗号化通信で行われ、添付ファイルの一時保管は外部攻撃に備えた高いセキュリティのサーバー上で行われます。